



親子でさまざまな体験を 親子ふれあいフェスタ

10月31日、高富中央公民館と高富公民館、大桑公民館で親子ふれあいフェスタが行われました。

このイベントは、地域の子どもたちに向けてさまざまな講座を開設しているやまがた子ども文化クラブが主催したものです。

ハロウィン料理の教室に参加した子どもたちは「作った料理のカボチャがとてもおいしかった」「カボチャを使った団子が黄色できれい」と話していました。



秋晴れの下で 気持ちよくウォーキング



11月3日、大桑地区で「やまがた秋のウォーキングイベント」はじかみ林道ウォーキング」を行いました。

今回のウォーキングイベントは生涯学習課、産業課、健康介護課の3課が企画。約180人が眼下に広がる景色を眺めながら林道を歩きました。

また、頂上付近のゴール地点では豚汁や元氣玉ドッグの配布、大声コンテストなどの催しがあり、参加者は「運動した後の食事はおいしい」「景色がきれい」などと秋の休日を満喫していました。

「かしの木」が 学校と地域を二体に

大桑小学校や大桑公民館で、第4回かしの木フェスティバルが11月8日に行われました。

このフェスティバルは、同校のシンボルツリーである「かしの木」から名前がつけられ、同校と同公民館が一体となって地域を盛り上げようとして行っているもので、約400人が参加して地域の交流を図りました。

会場では、大桑のよさをPRする会と同校児童が、戦国時代の逸話として伝わる「大桑城と餅屋のばあさん」を披露し、地域の歴史を学びました。また、公民館の学習発表会やバザーなども行われ、地域全体で楽しめるイベントとなりました。



地域を愛する心を育む



11月8日、梅原小学校や梅原公民館などで、ゆう・友・ふれあいフェスタ2015が行われ、同校児童や地域住民約250人が参加しました。

この事業は、梅原校区青少年育成市民会議が主催し、地域の子どもたちが安心して暮らせるよう世代をこえた交流で、地区の絆をさらに強めようといわれました。

地域のお年寄りの戦争体験や昔の生活の様子を聞いたり、レクリエーションをしたりして、楽しいひとときを過ごした参加者。小学生からは、梅原地区の昔の月見や大みそかの様子、履き物についての質問があり、お年寄りには、実物のぞうりや写真を見せて説明しました。

寒い夜に やさしいあかりで心を温めて



11月7日、「あかりのファンタジーinみやま」の点灯式が美山支所前駐車場で行われました。

この事業は、過疎化が著しい美山北部地域の活性化を図るため、美山北部まちづくり委員会が主催し今年で11回目の開催となります。

付近の住宅もイルミネーションで装飾され、地域一帯が都会のイルミネーションとは違う幻想的な雰囲気になりました。

イルミネーションの点灯は1月3日まで行われます。

伊自良湖の底は こんな風になっていたのか

伊自良南小学校3、4年生児童と伊自良北小学校全校児童が、伊自良湖の湖底を11月12日に見学しました。

伊自良湖は現在、えん堤の耐震工事のため水を抜いた状態となっており、この日の午前中には市職員らが生態系を保全するために外来種を駆除。午後からは岐阜農林事務所の職員などが、児童に昔の川跡などの湖底の様子や、施設や工事の概要などを説明しました。

児童たちは、湖底や捕獲された魚を興味深そうに見学、観察していました。



新鮮な野菜と 「当地ぎょうざ」が大集合



11月14日と15日、四国山香りの森公園で緑の朝市コンシェルジュ・岐阜餃子フェスタを行いました。

緑の朝市コンシェルジュは市内で収穫された野菜などを販売する催しで、岐阜餃子フェスタでは県内に加え、三重県津市や岡山県岡山市など県外からもご当地ぎょうざが集結。

今回は二つの催しが同時開催され、来場者は新鮮な農産物を選んだり、個性あふれるぎょうざを食べたりして楽しんでいました。

秋の風物詩を身近に感じて ふれあい秋まつり2015

11月23日、伊自良地域の平井コミュニティセンターで「連柿の郷ふれあい秋まつり2015」が行われました。

このまつりは、地域の人たちに柿文化をもっと身近に感じてもらうと平井自治会が企画したもので、地域おこし協力隊が出店などで協力しました。また、当日は地元の小学生による太鼓の発表や連柿農家などをめぐる撮影会など、たくさんの催しもありました。

撮影会の参加者は撮影しながら農家の人と話をし、連柿作りに興味を持っている様子でした。





家族について エッセイを通して考える



11月14日、桜尾公民館で「家族のきずな」エッセイ表彰式が行われました。

これは、岐阜やまがたエッセイ募集委員会が、エッセイを書くことで家族について考える機会を作ることを目的に行ったものです。

式では、受賞者のうち出席した優秀賞の4人と入選の17人が表彰を受け、優秀賞受賞者がエッセイを朗読しました。

元教育委員の平田さん 教育功労者表彰



平成26年まで17年間にわたり、教育委員会委員を務めた平田久美子さんが、教育功労者表彰を受賞し、11月13日、その報告のため教育長を表敬訪問しました。

平田さんは在任期間中に市教育振興基本計画の策定や美山中学校の建て替えなどに尽力。また、高富中学校で適応指導教室の開設などにも携わりました。平田さんは「皆さんのおかげで無事任期を迎えられ感謝している」と話していました。

長年にわたる 統計調査活動に表彰



長年にわたり統計調査の調査員として活動したことが認められ、早矢仕京子さん（写真右）が経済産業大臣表彰を、今瀬三奈子さん（写真左）が岐阜県知事感謝状を受けたことにより、11月11日、市長を表敬訪問しました。

2人は統計業務の重要さや苦労話などを市長に話し、市長は長年の功績を称えるとともに今後も統計業務で活躍してもらえようお願いします。

村瀬さんと土井さん 青少年育成活動で表彰



11月29日、海津市で行われた岐阜県青少年育成県民大会で、長年にわたり小学生の通学時の見守りをしている村瀬治男さん（写真右から2人目）と、小学生の教育活動に協力している土井壽生さん（写真中央）が表彰されました。2人は、青少年指導者として青少年の健全育成に顕著な活動をした功績が認められ、このほど表彰されました。

スポーツ推進委員の 棚橋さん全国功労者表彰



愛媛県で開催された第56回全国スポーツ推進委員研究協議会でスポーツ推進委員功労者表彰を受賞した棚橋沖夫さんが、11月24日、市長を表敬訪問しました。

棚橋さんは、昭和60年から31年にわたり、体育指導委員（スポーツ推進委員）として活動し、スポーツレクリエーションの普及振興のため活躍。また、平成16年度から委員長を務め、リーダーとして委員会を取りまとめられています。棚橋さんは、「今後はいつでもどこでもだれもができる、軽スポーツを考案したい」と話していました。

岐阜聖徳学園大学と 教育実習などで協定



岐阜聖徳学園大学と教育委員会は、11月17日、同大学の学生が市内の小中学校で教育実習やインターンシップをすることを盛り込んだ協定を締結しました。

この協定は平成22年1月から継続的に結ばれ、学生たちが山間地の小規模校で交流を図る「山間学習」をいわ桜小学校や伊自良北小学校で実施してきました。今後も今まで行ってきた事業を継続するとともに、新たに同大教職員から市内小中学校の教員への研修も検討しています。

～華やかな色水の祭典～

平成28年 山県市消防出初式



- ▶日時 平成28年1月10日(日)
13時30分～ (小雨決行)
- ▶場所 みんなのげんき広場
(市役所前)

荒天時は高富中央公民館で式典のみ行います。

▶目的 消防出初式は、1年間の防火の祈願、消防職団員の士気高揚を目的としています。

▶内容

○式典

消防団長訓辞など

○分列行進

28台の消防車両(消防本部、消防団)が市役所前の道路で隊列を組んで走行します。

○一斉放水

5色の水による放水



図消防課 Tel22-5121

消防団員募集中 詳しくは消防課へ問い合わせてください

ダイヤル 119

火災・救急・救助は119 消防本部 Tel22-0119

女性防火クラブ員を募集しています

【女性防火クラブとは？】

家庭で火を使用することの多い主婦を中心に構成され、火災予防の知識や技術を習得して防火意識を高め、家庭からの出火を防止することを目的とした組織です。

また、住宅用火災警報器の普及促進活動を行ったり救急講習に参加し応急手当を学んだりして、災害に強く火災のないまちづくりを目指し活動しています。

【主な活動内容】

- ・火災予防や救急法などの研修会や講習会を開催
- ・女性防火クラブ指導者研修会への参加
- ・火災予防運動期間中における住宅用火災警報器の普及促進活動
- ・防災訓練や消防出初式への参加

女性防火クラブは、地域の防火・防災など重要な役割を担っています。火災や災害時には、地域に根差した女性の災害対応活動は大きな力となります。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という信念のもと、災害のない安心安全なまちづくりに参加しませんか。

